



2011 第26回 高知県連合婦人会スポーツ大会より

10月も終盤とはいえまだまだ暖かい日が続き、秋とは思えないところもありますが、あちらこちらでスポーツ大会や文化的な催しなど、「スポーツの秋」「文化の秋」を満喫されているのではないのでしょうか。

さる10月21日（金）県立春野総合運動公園体育館において、2011第26回高知県連合婦人会スポーツ大会が開催されました。朝から雨模様の日でしたが、体育館内は各婦人会のみなさんのパワーで晴れあがっていたように思えました。

尾崎県知事、三石県議会副議長参列のもと、「宇宙戦艦ヤマト」のテーマをBGMに、ブロックごとに元気に明るく選手団の入場です。知事、県議会副議長の祝辞で大いに盛り上がり、さらに元気なところで準備体操。しっかりと体を温め、競技開始となりました。



(元気がよく入場する幡多チーム)

毎年その年の話題を競技に取り入れるこのスポーツ大会、今年は「なでしこジャパン」にあやかって、「土佐なでしこカップ」でオープニングです。ゴールに向かってシュートし、入れればバトンタッチ。入



らなければ入るまでシュートするという事で相当時間がかかるのではないかと思いましたが、婦人会のみなさんは、「なでしこジャパン」ばりの足さばきで次々にゴールを決めていきました。今夏の「なでしこジャパン」の姿と重なり、あの感動がよみがえってくるようでした。(^◇^)

次は、タイムスリップをしたかのように「おじゃみ」を使っての玉入れ競技「平和の泉」、チーム対抗リレー（予選）へとつづき、汗を流します。

昼食のあと「北国の春」の音楽をバックに「歌謡体操」で体をほぐし、午後の競技へスイッチオンです。「瀬戸大橋」とネーミングされたボール運び、チーム対抗リレー（決勝）と皆さんのボルテージはあがっていき、リレーの終盤には最高潮になり、すべての競技を終了しました。

自分の気持ちとはうらはらに足がなかなか前に進まず、前のめりに転倒するなど「ヒヤリ」とする場面もありましたが、大きなケガをする事なく無事、大会が終了しました。

婦人会のみなさんのいきいきした笑顔や、一生懸命ブロックのなかまと力を合わせて頑張る姿を見る事ができ、とても充実した一日になりました。この姿こそ社会教育の集大成ではないかと感じました。また来年もこの姿を見られることを楽しみにしています。

